

2021年3月31日
清水建設株式会社
株式会社みずほ銀行
農林中央金庫

建設業界初、サステナビリティ・リンク・ローンで資金調達 ～200億円のコミットメントラインを設定～

清水建設(株)と(株)みずほ銀行、農林中央金庫等は本日、シンジケーション方式のサステナビリティ・リンク・ローンについて、極度額を200億円とするコミットメントラインを設定しました。サステナビリティ・リンク・ローンを活用した資金調達は建設業界では初めてです。

このコミットメントラインは、急な資金需要に備えて設定するもので、(株)みずほ銀行がシンジケーションを組成しました。サステナビリティ・リンク・ローンとは、金利条件等の貸付条件と借り手のCSR戦略に対するパフォーマンス評価が連動した、持続可能な経済活動および成長を推進するローン形態です。

今回のパフォーマンス評価は、シミズグループの「中期経営計画<2019-2023>」に掲げた非財務KPIの一つ「建設事業におけるCO₂排出量(2017年度比)の削減率」の各年度目標の達成・未達が対象となります。清水建設(株)が目標を達成すると、インセンティブとしてコミットメントラインの設定手数料が引き下げられる仕組みになっています。清水建設(株)は各年度のCO₂排出量を集計し、(株)みずほ銀行と第三者評価機関がそのパフォーマンスを評価します。

清水建設(株)は今後、建設事業におけるCO₂排出量を着実に削減し、長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」に掲げたサステナブルな社会の実現に寄与することで、企業価値を向上させ、SDGsの目標達成にも貢献していく考えです。

〈みずほ〉はサステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

農林中央金庫は、清水建設(株)のサステナブル経営にかかる中長期ビジョンの理念に共感し、環境・社会問題のうち、当金庫が重視している気候変動問題の解決に貢献するものと評価し、本件の対応に至りました。引き続き、投融資を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGsの実現をはじめとするサステナブル経営を推進してまいります。

<本契約の概要>

借入人：清水建設(株)

金額：200億円

資金使途：運転資金

契約締結日：2021年3月31日

契約期間：3年

貸付人：(株)みずほ銀行、農林中央金庫等

※本契約は、(株)日本格付研究所（JCR）から、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠性および設定した目標の合理性について第三者意見を取得しています。詳細は以下のJCRによる評価レポートをご参照ください。

> 評価レポート：<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>